

岩手県田野畑村 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2025

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 新しい施設や道路整備など、変わりゆく地域づくりの現場を、実態的に学ぶことができます。
- 思惟エリアの未来を考え、自分の提案を地域に活かす挑戦ができます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

早稲田大学ゆかりの「思惟エリア」の活用案を提案せよ！

岩手県田野畑村は人口約 2,900 人の農山漁村です。早稲田大学とは 60 年以上の交流があり、交流拠点である「思惟の森」を中心に「思惟エリア」が形成されています。近年は「思惟大橋コミュニティ公園」や「道の駅たのはた思惟の風」の整備に続き、令和 7 年度には遊歩道や施設の新設、三陸沿岸道路 IC の開通も予定され、新たな人の流れが期待されています。

しかし、エリア全体の活用方針は検討段階であり、またエリア西側の思惟大橋コミュニティ公園では遊具の老朽化が進むなど、村民や観光客を安心して受け入れられる魅力的な環境が揃っているとはいえない状況です。村内には休日をはたのびのびと過ごせる場所が少ないため、家族連れの村民や観光客は、近隣の道の駅やショッピングモールなどへ出かけることが多くなっています。

そこで皆さんには、思惟エリアの新たな活用案を提案していただきます。家族連れの遊び場や高齢者の憩いの場など、交流の場に求められる役割は様々ですが、目的を限定することなく、立地を生かした田野畑らしい空間とはどのようなものでしょうか。早大生ならではの柔軟な提案を期待しています。

田野畑村の魅力

田野畑村は、岩手県沿岸北部に立地する臨海型の農山漁村です。漁業や酪農が盛んで、海産物や乳製品が自慢です。沿岸部には、(公財)日本交通公社による観光資源評価の「自然資源 海岸・岬の部」で特 A 級の評価を受けた景勝地「北山崎」をはじめとする絶景が広がり、それらの海岸美を現役漁師のガイドで巡る「サップ船アドベンチャーズ」などの体験型観光も盛んです。



募集概要

実施期間	2026年2月9日（月）～2月12日（木）
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2025年10月21日（火）～11月3日（月）23：59 [厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出、②現地3泊4日の全日程に参加、③終了後に期限内にレポート提出、 以上、3点を確約できる者。
募集人数	10名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加（最終日の成果報告会でチームによるプレゼンテーション） ③ 終了後に、1週間以内にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2025春編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2025春編応募フォーム」から「申請」をクリック ③ 必要事項（志望理由など）を入力して申請 ※申請完了を確認してください
説明事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ② 2026年2月9日から12日の現地実習は、現地集合・現地解散で、往復交通費は自己負担です。 <交通費目安> 東京駅～田野畑駅 片道 17,450円（新幹線／指定席）。また、東京・宮古の深夜バスを利用すると片道 11,000円程度（時期によって金額が変動するので自分で確認） ③ 参加者が現地で負担する費用は、宿泊3泊6食で計24,000円のほか、昼食の実費です。 <宿泊場所> ホテル羅賀荘 〒028-8403 岩手県下閉伊郡田野畑村羅賀60-1 ④ ただし、全プログラムを修了して1単位相当に認定された人は、田野畑村から、往復交通費、宿泊費、現地活動費（食費除く）の約半額（上限3万円程度）を補助していただけることになりました。 ⑤ 現地での移動は、田野畑村役場からご支援をいただきます。 ⑥ 現地では、本学教員と田野畑村職員が引率します。 ⑦ 現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑧ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑨ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑩ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑪ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、11月末～12月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑫ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑬ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバルエデュケーションセンター 准教授 加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

2月9日	月	14:40	現地集合(三陸鉄道リアス線田野畑駅)
		15:15	現地視察@思惟エリア
		17:30	ホテル羅賀荘にチェックイン・夕食・班別学習
2月10日	火	9:00	村への聞き取り調査@役場
		11:00	青鹿寮視察
		12:00	昼食@道の駅
		13:00	現地視察@思惟エリア
		17:00	夕食・班別学習@ホテル羅賀荘
2月11日	水	9:00	班別学習@ホテル羅賀荘
		12:00	昼食@北川食堂
		13:00	班別学習@ホテル羅賀荘
2月12日	木	9:00	成果報告・意見交換会
		11:20	現地解散(三陸鉄道リアス線田野畑駅)

※天候や訪問先のご都合の状況によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。